



ぼらんていあ通信

2月号
通巻 No.459

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2020年2月18日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

ハンディキャップ活動者交流会を開催

委員長 加藤修



2020年1月18日(土)に市民会館の会議室においてハンディキャップ活動者交流会を実施しました。

ハンディキャップ活動は原則運転者1名が利用者を送迎する体制の為、運転者同士顔を合わせる機会が少ない事も今回の集まりを企画しました。

当日は雪の降る生憎の天気でしたが運転者、事務局スタッフで24名もの方にお越しいただき皆様の関心の深さを知る事が出来ました。

初めに食事をつりながら自己紹介をしてもらい運転者の皆さんからは、始められ

たきつかけや利用者さんからの礼の一言を励みにしたり、地域の恩返しのために活動しているといった



話がありました。

事務局スタッフからは運転者探しの苦労や、利用者さんに振り回された話、運行に際してのお願いなど話されました。自己紹介だけでゆう1時間を超えてしまいました。その後5つのグループに分かれて自由に話をしてみました。各グループ、ハンディキャップ活動に関する事等様々な話で盛り上がったようでした。後日参加者から有意義な集まりだった。又聞いて欲しいとの言葉を頂きました。

今回は交流的要素の他に現在のハンディキャップ活動に関する課題の検討などテーマを決め意見交換の時間を設けようと考えております。

皆様の参加をお待ちしています。

お詫言ひ

ぼらんていあ通信1月号1ページの「新年のご挨拶」の記事で、掲載間違いが2カ所ありました。

*中段15行目

(誤) ジャンボジャンボ

(正) じゃんぼ☆じゃんぼ

*中段29行目

(誤) ユニコムラサキがみほり

(正) おだまがプラザ

訂正してお詫言ひいたします。

Twitter

ぼらんていあ通信版 ツイッターコーナー

日高律子



冬の風ががり、日差しが差し込むリビングでほんやりと外を眺めていると、はるか昔のことが走馬灯のよう思い出される。

縁側で姉さんかぶりをしたおばあちゃんか背を丸くして日向ぼっこしながら何かしている。垣根にははらほらと南天の実が残り色をそえている。庭には親鳥が「ヨコ」を従え、コッコと歩き回っている。近所のおばあさん達が一人一人と腰をまげながら集まって来る。お茶を飲みながら世間話が始まる。その頃はお茶菓子などなく、漬物がお茶の友である。たぐわんを小さくさきながら食べている姿がなつかしい。雨の日は囲炉裏のそばで暖を取りながらお灸をすえる。すてあげるのが私の役目でした。順番にすえながら、おばあちゃん達の話を聞くのが楽しみだった。いつもお年寄りのそばにいたように思う。今、自分が傾聴のボランティアを生きて甲斐に思えるのも、その頃の思い出があるのかもしれない。

高齢化が進み、一人住まいの方、日中独居の方が多くなっているこの頃です。ふれあう場所がない、そんな時、心の安らぎを得て元気を取りもとされる手助けが出来たらと思っています。学ぶ事、沢山あります。教わる事もあつた。大切にさせていただきます。

報告

外部会議「相模原市精神保健福祉審議会」

はねた 羽田 彌

出席報告



去る1月28日(火)標記の審議会があり、ボランティア協会からの派遣委員として出席しました。主要議題は、精神障害者の措置入院を受け入れる「指定病院」の指定と家族の同意が得られない場合に措置入院させることが出来る「心身入院指定病院」の指定について病院側からの申請に対して要件を満たしているかを審議し、審議結果を市に対して答申するものです。

その他議題では市の精神保健福祉業務について、依存症相談拠点の実施状況についての報告・説明がありました。精神保健福祉についての知識の蓄積は皆無ですが一生懸命に行っていると考えています。

3月の記念日は？

小倉義男

3月18日、点字ブロックの日です。1967年3月18日、岡山県立岡山盲学校に近い国道250号に世界で初めて敷設されたことに由来するそうです。

正式には、視覚障害者誘導用ブロックといい、視覚障害者に歩行に必要な情報を提供し安全に誘導するため路面や床面に敷設されるブロックのことで、1993年に公布された福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律で「視覚障害者誘導用ブロック」という名称で定義されました。

最近、夜の道が暗くてほとんど見えないため、点字ブロックは安全に歩行するのに大変助かっています。(6~0) 小倉画



NEWフェイス

新会員の皆さまを迎え

ボランティア協会は、本年度も新しい仲間をお迎えし一緒に活動しています。新会員の皆さま、少くもご紹介させていただきます。今月は鍋岡さんと杉崎(久)さんに、入会後の活動などについて伺いました。

人生百年時代の私の生き方・働き方

南区麻溝台 鍋岡 勇治



昨年の月の「新たなライフプラン」に基づく人生設計を考える従業員支援を目的とする早期退職優遇制度に志して約40年勤めた製菓会社を退職しましたが、この機会に今後の人生設計を検討中であった妻と私にとって正に好機となるものでしたので、早速そのライフプランを言葉に表すために名刺を作成しました。

その名刺の表部分には「相模」を元氣にした生活サポートオフィス「ぼんひる」と書き、オフィスパートナーとしての私と妻の名前を入れましたが、「ぼんひる」は屋号であり、私の苗字を英語でもじったものです。

名刺の裏には活動のきっかけになればと考え、検討中のサービスを思いつくままに書き連ねましたが、それらは縁次第でいかに変わっていくてよいものと考えています。

例えば、妻は一年前から手芸に興味を持ち移動ポケット等を作っては縁のある方々に無償提供していましたが、一型糖尿病でインシュリンポンプを使用中のおまさんに人気キャラクター

のポシエットを作ったところ目を輝かせて喜ばれ、それが妻喪や主治医の先生方の評判となり、これを機に沢山依頼を受け始めるようになりました。現在は病養中の方々の意見を聴きながら、蓄尿バック用カバー、延かけやひび掛け等々、色々試行錯誤しながら活動の幅を拓けていくつもりです。

一方の私は、車椅子のまま乗降できず回転シートも備えた福祉車両を義父母の介護のため十年前に購入しようとした際に社会福祉協議会や民生委員の方に大変お世話になり、又、全盲の義父が生前に闘牛や畜産関係の書籍を執筆する際にはボランティア協会の皆様に代筆等でお世話になったことを思い出し、何かご恩返しのようなことが出来ないかと考えていたところ、ハンディキャプやイルカバンク事業があることを知り、これに登録してボランティア活動を始めることに致しました。

現在はボランティア活動をしながら公立中学支援学級に介助員として勤務しておりますが、子供達とはグランドを駆け回ったり、パプリカを踊ったりして楽しい日々を過ごさせていただいています。

さて、将来については、妻も私も出身大学で食品衛生管理栄養資格を取得しておりますので、今年にはさらに健康音楽療法士の資格を取って自宅で通信カラオケプログラムを活用した健康長寿実現のためのシニアスナックを始める準備をできたらと妻と夢想する日々を楽しんでいます。JUNIPUS。

次ページに続く



ほかふれフェスタ参加団体訪問記



「NPO法人 れんきょう」を訪ねて



「れんきょう」さんは毎年恒例の秋、冬「ほかふれフェスタ」の実行委員長を「れんきょう」と「ボラ協」の会長が交代で引き受けて開催しています。市の障がいへの理解を進める情報発信サイトである「わーくる」のホームページに依ります「れんきょう」の主権開始は平成14年から続いて今年で18年目となります。



仕事中の安部さん(手前) 奥は座間さん。



障がい児者や障がいに対する社会的理解を深める普及・啓発事業など、また就労などの様々な援助事業を行っています。

多く、その割にはお話を伺う機会が無く、今まで来ておりました。昨年の2月には創立30周年を迎えられ式典が開催されました。「れんきょう」の構成は11団体「及び、肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、精神障がい等のさまざまな障がい児者や障がいに対する社会的理解を深める普及・啓発事業など、また就労などの様々な援助事業を行っています。



あじさい会館4階 事務局入口



* 「NPO法人れんきょう」事務局
〒252-0236
相模原市中央区富士見6-1-20
あじさい会館 4階福祉団体室
(電話・ファックス) 755-5282

「の日はボラ協の前理事で「れんきょう」の現会長の鈴木さんとも久しぶりにお会いでき、和やかにお話が伺えました。(三十尾・小林)

毎月のぼらんていあ通信の発行時に使っている会館の4階の作業室の隣が「れんきょう」さんの事務局です。月曜日から金曜日は安部さんと座間さんの2人が事務員としておられます。安部博之さんは「ほかふれ」以外にボラ協の大会などでもボランティアとしてお目にかかったりして顔馴染みでしたが、今回初めてお話を伺うことが出来ました。

安部さんは「れんきょう」に平成20年5月に松が丘園の就労援助部門から紹介を受けてあじさい会館の事務局に就職され、もう10年以上となります。しかも「れんきょう」の笑顔とぼらんていあ通信の私たちとはそれ以来の長い付き合いになっていきます。小田急相模原から通勤していらっしゃるという、お元気でこれからも活躍してください。

福祉車両の運転に携わる

杉崎 久子



福祉車両の運転に携わって約7ヶ月、運行回数もやっと10回を超えたという新しい新米会員の杉崎久子です。毎回非常に緊張しながらも、協会事務局の方やハンディキャップの運転手の皆さんの行き届いたアドバイスや励まし、利用者の方々の感謝や温かな言葉に支えられ、活動を続けています。

福祉車両との出会いは従兄弟が車椅子の叔母をハンディキャップに乗せて母の見舞いに来たことでした。その後「ボランティア講座」の募集を見て、運転ボランティアのことが知ったのです。当初はじめて母を連れて出たいという気持ちだったのですが、運転資格を取るまで親身に面倒を見ていただき、せっかくの資格、運転手も不足と聞き、少しでも役に立てたらと思い申しました。

運転歴は長くても人を乗せて運転するという責任の重い仕事はじめてきなうと思っていたのですが、協会の先輩方の指導や資格取得の講座を通して運転自体への考え方も改まり、運行の時だけでなく普段の運転もとても慎重になりました。また、事前に利用者のお宅や送迎先への経路を、携帯マップや実地であらかじめ調べたり、送迎中の話題を考えたりの場合は案外楽しいものです。創設から「無事故」を誇るHC事業の名を汚さぬようこれからも安全な運転で頑張りたいと思います。

現在、音訳ボランティアも講習を終えることができ、4月以降「ドライバー」の予定です。今後にも多方面で「指導のほうへ」願っています。





2月28日(土) 定例理事会(理事7名出席)

一. 報告事項

◆ 講座検討委員会

・ ボランティア入門講座(春講座) は3月19日おたさがプラザで開催。

・ 来年度のボランティア養成講座は7月4日、11日、18日の日程で開催する。詳細は検討中。

◆ 事務局委員会

・ 正会員登録更新はぼら通の用紙に案内文と払込票を同封し、併せて現在の会員登録票を同封して再確認をお願いする。

・ HC利用会員登録更新は挨拶文、利用案内、払込票を送付する。それぞれ3月1日から受け付ける。

◆ その他

・ 50代から始める地域活動マッチング相談会(市主催、3月20日開催)に出展参加する。

二. 審議事項

◆ 予算執行状況の確認と今後の対応を検討した。

◆ 来年度事業計画に取り入れる項目の検討をした。

・ 10号車に代わる新車を購入する。

・ 役員選出管理委員会を設置する。

◆ 来年度理事会開催予定について

・ 原則として毎月第2土曜日10時から開催とする。

三. その他

◆ 市民桜まつり

・ 福祉ハザード、ふれあい・福祉ブース(模擬店)、パレードに参加することとして準備を進める。

◆ イベント等で着用するジャンパーを購入する。

(次回理事会 3月14日(土) 10時より)

相模原ボランティア協会 3月の予定

日	時間	内容
14(土)	10:00~	定例理事会
18(水)	13:00~	広報委員会ぼら通部会
19(木)	14:00~	ボランティア入門講座(春講座)
21(土)	13:00~	事務局委員会
	14:00~	講座実行委員会
23(月)	13:00~	ぼら通3月号印刷
24(火)	13:00~	ぼら通3月号発行
28(土)	10:00~	ハンディキャップ委員会

ご寄付をありがとうございました
 皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。
 <1月の寄付者>
 5名の皆様からご寄付をいただきました。
 <1月の寄付金>
 総額 9,000円でした。

スタッフ大募集



廃刊寸前! わくわく 企画・編集・制作スタッフ募集

ボランティア情報誌「わくわく」は当協会が発行するミニ雑誌で、ボランティアや福祉に関する情報を中心に、相模原や近隣についての親しみやすい記事を掲載しています。スタッフの高齢化に伴い、廃刊の危機に瀕しています。一緒に活動いただける方を以下のとおり募集します。

ボランティア情報誌「わくわく」の概要

- ・ 季刊雑誌、B5版、28ページ(3ヶ月に1回の発行です。)
- ・ 表紙を除き、リソグラフ印刷による手作り雑誌
- ・ 発行部数300部で無料配布
- ・ 記事の例: 福祉関連団体参加の座談会、福祉に関する情報、障がい者の詩、グループ訪問、パズルに挑戦、ハイキング、史跡など地元の話題

*ご興味のある方はボランティア協会事務局(042-759-7982)まで、担当者からご連絡します。



クイズに挑戦

次のお花の漢字の読み方は?

①金雀枝 ②含羞草
 ③枳殻 ④金盞花 ⑤梔子



クイズの答え

①エニシダ ②おじぎそう
 ③からたち ④きんせんか
 ⑤くちなし



理事のついで

ボランティアキャブと災害ボランティア

杉本 榮治



先月行われたハンディキャブ(以下HC)関係者の交流会は成功裡に終えることが出来ました。一人行動が多いHC活動ですので関係者の仲間意識を高めることを主な目的として企画されたものですが、それだけにとどまらず貴重な意見も伺うことが出来ました。有難うございました。その際、HC活動の範囲を「ドアツードア」と説明しましたが、それに關係してボランティア保険が話題になりましたのでまずその話をしていきたいと思います。

ボランティア保険、正しくは「相模原市市民活動サポート補償制度」は市内でボランティア活動をしている者が、ボランティア活動中に思わぬ事故により法律上の賠償責任を負った場合も自身が死亡もしくは傷害を負った場合にこれを補償するよう、安心してボランティア活動を行えるための制度です。対象となる活動として、「活動拠点が市内」「無報酬の活動」「自発的かつ継続的・計画的に行われる活動」「公益性的な活動」です。従って、ボラ協が行っている事業は全て当てはまることになると思います。但し、自然災害に起因する事故や危険な作業や車の運転事故は対象となりません。また、災害時のボランティア活動にはボランティア活動保険での対応となります。車の運転中の事故に関しては当然の対応ですが車面にかけてある自動車保険での対応はあくまでも限られます。

「ドアツードア」と言っているのはボラ協として受け入れるサービスの範囲の原則を言っているものであって、それ以外、例えば施設の中で車を押すとか、買い物の補助等のサービスはその時々状況によりありますが、この場合にも先に挙げた危険な行為でなければボランティア保険の対象となります。

我々はタクシーではありません。タクシー等の公共交通機関が対応しない細かいサービスを提供するために福祉有償運送制度が存在するのです。私は協会から派遣されて相模原災害ボランティアネットワーク(S&VN)の運営委員になってい

ます。S&VNの最大の任務は相模原市内に災害が発生した際のボランティアセンターを社協と協力して立ち上げ、運営する事ですが、日常の活動としては災害ボランティアコーディネーター養成、ボランティアセンター立ち上げ訓練、防災知識の普及、学校体験学習協力、家具転倒防止、防災訓練への参加等、防災に関する種々の活動を行っています。現在会員は個人会員と団体会員を合わせて70名程度いますが、日常の活動に参加して頂ける方はその半数にもなりません。災害が発生した場合(特に地震)は会員自身が被災者となる訳ですから動ける数は数分の1になると思われます。従って多くの多くの会員が必要となります。ボラ協の皆様も入会して頂けると嬉しいと思います。

今回の台風19号の被災状況を見学させて頂く機会(1月末)がありました。行政や多くのボランティアの活動により多くは復旧はなりましたが、未だ手つかずの箇所や、一応復旧されているものの今後の不安がある箇所も見られました。また、災害に

ではないのに周辺より低い浸水被害があるところ、小さな川からも土砂が流入するところ、地質が大きく関係するところ等、いろいろな観点からも自分の住んでいる地域を見直さなければ、と思っておりました。昔あるマリンセンター(増田明美さんだと思いますが)が走っている時何を考えているかと聞かれたら、「いい顔をして走ることを心がけている」と答えたそうです。もちろん他人に対していい顔をすることは意味のない顔、いい顔ではありません。忙しい時ややる顔がきつくなるといって、その時「いい顔」を意識する楽しさをいって聞かれました。私も時々思い出している顔、なるかなと思います。が、なかなか難しい。皆さんも試してみたら如何でしょうか。



ボランティア協会 事務局員 募集

協会の窓口ボランティアとして活動してみませんか?

活動場所: 協会事務局

あじさい会館2階中央ボランティアセンター内

活動内容: 週1~2日、1日5時間程度

電話受付、ボランティア調整、簡単なパソコン作業

※些少ですが活動費補助制度があります。

連絡先: 協会事務局 042-759-7982



ボランティアさん募集！

絵手紙作成のお手伝い



内容：施設内で絵手紙作成の指導またはお手伝いをお願いします。

日時：月1～2回（月曜～土曜日でご都合の良い日）

14：15～15：15

場所：ホームケアセンター笑福
（中央区千代田5-9-2）

持ち物：特になし（材料は施設が準備します）

*連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター

電話 042(786)6181

ボランティア協会は

今年も、市民桜まつり（4月4・5日）に参加します！！



バザー品募集

ご家庭で不要な物（古着以外）、ご寄付いただける手芸品や材料などをご提供いただけませんか？

募集期間：4月3日（金）まで

問い合わせ持ち込み時間：10時～15時

*日曜日、祭日を除く

あじさい連絡所への持ち込みが無理な方はご連絡頂ければ、日時を調整しお伺いします。

ボランティア募集

内容：パレード参加（4月5日）

福祉バザーやボラ協コーナー

模擬店の運営お手伝い

各ブースの準備や片付けのお手伝い、声掛けなど

日時：4月3日（金：事前準備）～4月5日（日）

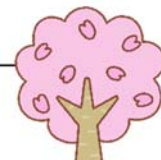
場所：桜まつり会場（市役所周辺）

ご協力をお願いします

*連絡・問い合わせは

相模原ボランティア協会 あじさい連絡所

電話 042(759)7982



12日の読売夕刊に折り紙でパッチワークをしたという記事が写真入りで載っていた。これが高齢者の脳トレ、指先の運動。さっそく挑戦してみよう。ステキな作品ができればいいな...。(三)

編集後記



《今月のイラスト

...はり見へ

大それた雪だるまを作ったよ...》

今年登録のお願い

来年度の会員登録が二月一日から始まりま
す。あじさい連絡所、または郵便振込で更新手
続きができます。現在の登録状況を記載した登
録票を同封しましたので、ご確認ください。
よろしくお願ひします。